

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 兵庫県
本事業の担当部局名 県民生活部男女青少年課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1_1_1 結婚支援センターに関する取組						
個別事業名		ひょうご出会いサポートセンター運営事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成18年度
総事業費(A)(円)		38,500,000		交付金その他の収入予定額(B)(円)	7,650,000		差引額(A-B)(円)	30,850,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		34,760,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	38,500,000	0	0	0	0	38,500,000	
	対象経費支出予定額	34,760,000	0	0	0	0	34,760,000	
	対象外経費支出予定額	3,740,000	0	0	0	0	3,740,000	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出会い・結婚のサポートから、妊娠・出産、子育て、教育、さらには就職・起業まで、切れ目のない支援を展開することで、誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫を実現する。 <本個別事業の位置付け> 本県の少子対策・子育て支援に関する基本計画である「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2025～2029)(仮称)」の6つの推進方策の「Ⅱ 結婚・妊娠・出産の希望が実現出来る切れ目ない支援」に、出会い支援事業は位置づけられている。本事業は、兵庫県の結婚支援事業の基盤となるひょうご出会いサポートセンターを運営し、出会いイベント・個別お見合い紹介等を通じて独身男女の出会い・結婚を社会全体で支援し、会員の成婚数の増加を目指す。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	ひょうご出会いサポートセンターの運営	会員を成婚へ結びつけるため、ひょうご出会いサポートセンターの運営として以下の業務を行う ・個別お見合い支援、状況に応じた相談対応等成婚へのサポート ・出会いイベントや結婚力アップセミナー、出張相談会の開催 ・SNS等を活用した積極的な広報					
	2	マッチングシステムの保守管理	AIによる自動お相手紹介機能やオンラインお見合い機能等を有するマッチングシステムを運営し、利用者の利便性の向上、成婚数の拡大を図る					
	3							
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・減少傾向にある会員登録者数を増加させるため、センター広報を強化する。							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)		組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R5年)	
	婚姻件数		件	19,629 (R5年)	
	婚姻率			3.7 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	ひょうご出会いサポートセンターはばたん会員新規登録申請者数	人	1500 (R7年度)	1427 (R5年度)
	②	お見合い組数	組	2000 (R7年度)	1840 (R5年度)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	50	38.56
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50	41.39
	③	結婚・妊娠・出産・子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)	組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 兵庫県
本事業の担当部局名 県民生活部男女青少年課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1_2_1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名		ひょうご出会いサポートセンター出張相談会の実施				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		3,960,000		交付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,960,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		176,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	3,960,000	0	0	0	0	3,960,000	
	対象経費支出予定額	176,000	0	0	0	0	176,000	
	対象外経費支出予定額	3,784,000	0	0	0	0	3,784,000	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出会い・結婚のサポートから、妊娠、出産、子育て、教育、さらには就職・起業まで、切れ目のない支援を展開することで、誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫を実現する。 <本個別事業の位置付け> 本県の少子対策・子育て支援に関する基本計画である「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2025～2029)(仮称)」の6つの推進方策の「Ⅱ 結婚・妊娠・出産の希望が実現できる切れ目ない支援」に、出会い支援事業は位置づけられている。本事業は、兵庫県の結婚支援事業の基盤となるひょうご出会いサポートセンターを運営し、出会いイベント・個別お見合い紹介等を通じて独身男女の出会い・結婚を社会全体で支援し、会員の成婚数の増加を目指す。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	出張相談会の開催	市町と連携し、ひょうご出会いサポートセンターへの入会相談や婚活における悩み相談を受ける相談会を、県内各地で開催する。 出会いイベントや婚活セミナーを行う市町にあたっては、当該イベント・セミナーと相談会を同時に開催するなどの連携を行い、参加者の成婚に向け相乗の効果を図る。					
	2	兵庫県地域少子化対策推進協議会の開催	県及び管内市町で構成する「兵庫県地域少子化対策推進協議会」を開催する(年1回、オンライン開催) <協議内容> ・結婚支援に係る取組や課題の共有 ・次年度以降の実施事業及び連携に向けた検討 ・結婚新生活支援事業の取組状況、拡大方策 等					
	3							
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 市町の結婚支援担当者からは、他市町とのつながりが乏しく、各々の課題や取組に関する情報収集の場がないとの声もあったため、近隣市町での出会い支援の情報共有等、相互に協力し合える関係を構築する。							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)		組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R5年)	
	婚姻件数		件	19,629 (R5年)	
	婚姻率			3.7 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	出張相談会参加者数	人	100	52 (令和5年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	ひょうご出会いサポートセンターはばタン会員新規登録申請者数	人	1500	1427(R5年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 兵庫県
本事業の担当部局名 県民生活部男女青少年課

事業メニュー		結婚支援コンシェルジュ事業						
区分		結婚支援コンシェルジュ事業						
関連事業メニュー		2_1 結婚支援コンシェルジュ事業						
個別事業名		兵庫県結婚支援コンシェルジュ事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		4,367,000		交付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	4,367,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		4,367,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	4,367,000	0	0	0	0	4,367,000	
	対象経費支出予定額	4,367,000	0	0	0	0	4,367,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出会い・結婚のサポートから、妊娠、出産、子育て、教育、さらには就職・起業まで、切れ目のない支援を展開することで、誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫を実現する。 <本個別事業の位置付け> 本県の少子対策・子育て支援に関する基本計画である「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2025～2029)(仮称)」の6つの推進方策の「Ⅱ 結婚・妊娠・出産の希望が実現できる切れ目のない支援」に、出会い支援事業は位置づけられており、少子対策に向け総合的に結婚支援の取り組みを展開している。本個別事業はその一環として、兵庫県に結婚支援に対して専門的な知見を持つ者をコンシェルジュとして配置することにより、県内各市町の結婚支援を技術面・情報面から支援する。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数考え方 ⑤実施体制	①兵庫県男女青少年課 ②業務委託先による雇用 ③1名配置 ④市町ごとの結婚支援に対する取組状況を把握し横展開するため、1人で実施(逐次男女青少年課担当もサポート) ⑤兵庫県男女青少年課内に結婚支援コンシェルジュを設置し、管内市町の出会い支援事業を技術面・情報面から支援するとともに、県も含めた事例の横展開等を行う					
	2	活動内容【1】	【県内市町への働きかけ】県内各市町を訪問し現状把握を行い、結婚支援に対する助言を行う。結婚支援未実施市町に対しては結婚支援事業に取り組んでもらえるよう働きかけを行う。 また、管内市区町等が実施するイベント、セミナー、広報に係る企画立案等について助言・立会等を行う。 【企業等への働きかけ】経済団体等への訪問により、現状把握を行うほか周辺市町との連携を提案する。 【その他】内閣府実施のコンシェルジュ会議への参加。					
	3	活動内容【2】	近隣市町間での事業の協力や連携がとりやすいよう、圏域単位等での情報ネットワークの構築を支援するために、県内各地域で県・市町結婚支援担当者交流会を開催する。					
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> R6年度に実施した市町訪問等で、結婚支援に関する情報・ノウハウ不足が明らかとなったため、近隣市町間での事業の協力や連携を強化し、県内全域での結婚支援の充実を図るため、圏域単位等での県・市町結婚支援担当者交流会を設置する。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)		組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R5年)	
	婚姻件数		件	19,629 (R5年)	
	婚姻率			3.7 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	対面・オンラインによる訪問市町数／管内市町数	%	100	100 (令和5年度)
	②	県・市町結婚支援担当者交流会	回	3	1(令和5年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	次年度から新たに結婚支援に取り組む市町数	市町	2	3(令和6年度見込)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 兵庫県
本事業の担当部局名 県民生活部男女青少年課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		3_2_3 育児休業取得と家事・育児分担の促進						
個別事業名		男性の家事・育児推進事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		2,704,755		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,704,755
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,704,755						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	90,700	11,900	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	90,700	11,900	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,602,155	0	0	0	0	2,704,755	
	対象経費支出予定額	2,602,155	0	0	0	0	2,704,755	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出会い・結婚のサポートから、妊娠、出産、子育て、教育、さらには就職・起業まで、切れ目のない支援を展開することで、誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫を実現する。 <本個別事業の位置付け> 本県では「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2025～2029)(仮称)」に基づき、「誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫の実現」を基本理念として、少子対策・子育て支援対策に取り組むこととしている。 プランの推進方策の一つである「子育てと仕事の両立支援(仮)」の達成のため、本事業では「男性の家事・育児参画の促進」に向け、企業の管理職・社員を対象とした出前講座や子育て中のパパ向けのセミナー等を開催し、家事・育児に共に取り組む機運を醸成する。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	企業向け普及啓発	◆出前講座の開催 企業・事業所等との協働により、父親が子育てに参画することの必要性を啓発し、ワークライフバランスに配慮した職場意識の醸成を図るとともに、受講者が男性の家事・育児参画の率先リーダーとして企業等で活躍できるセミナーを開催する。 なお、業務は公募型プロポーザルにより選定したNPO法人等に委託して実施する。 ◆子育て応援企業等との協定締結 県と民間が一体となって社会全体で子育て支援をしていくため、平成18年3月に県、連合兵庫、兵庫県経営者協会により締結した「仕事と生活の調和と子育て支援に関する三者合意」に基づく取組の一環として、子育てと仕事の両立支援や子育て家庭を応援する企業や団体等と協定を締結する。					
	2	県民向け普及啓発	◆パパの育児応援セミナー 男性が家事・育児に参画したいと思えるきっかけづくりを支援する講座を開催。育児・介護休業法の改正により育児を取得する男性が増加すると予測される一方、「取るだけ育児」を防ぐため実施。 ・対象:プレママ、プレパパ、乳幼児を持つ夫婦 ◆親子料理教室 料理に慣れていない父親とその子どもを対象に料理の基本を学び、家事のスキル向上をめざすとともに、親子で楽しく地域の郷土料理や食文化にふれ、子育ての楽しさにつなげる。 ◆ラジオによるスポットCM 男性の家庭への参画や、家族の大切さについて呼び掛けるスポットCM(毎月第3水曜日 朝・夕の2回実施) ◆啓発資料の作成 男性の家庭への参画や家族の大切さについて呼びかける啓発グッズを作成・配布し、理解を広げる。 配布予定:ラジオ関西まつり(10月) 1,000 子育て支援メッセ(2月) 200 計:1,200					
	3							

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

・令和5年度に本県が実施したセミナーでは「育児休業制度の内容が知りたかったから」が受講理由として最も多かった。これを踏まえ、出前講座等の内容に、育児法や次世代法の改正ポイントを盛り込み、県内事業者等の知識のアップデートを図る。

・また、男性の家事・育児への参画促進のためには、アンコンシャスバイアスの存在を知り、誰しもが持っていることに気づくことが重要であるため、出前講座の内容にアンコンシャスバイアスを盛り込むよう積極的に働きかける。

・加えて、本事業で実施するセミナーや料理教室の様子をホームページやInstagram等で広く県民に情報発信し、機運醸成を図る。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)		組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R5年)	
	婚姻件数		件	19,629 (R5年)	
	婚姻率			3.7 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	出前講座の参加者数	人	800 (R7年度)	812 (R5年度)
	②	パパの育児応援セミナーの参加者数	人	200 (R7年度)	220 (R5年度)
	③	料理教室の参加者数	人	760 (R7年度)	1218 (R5年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90(令和7年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚・妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	出前講座の満足度	%	90 (R7年度)	88 (R5年度)
	⑤	パパの育児応援セミナーの満足度	%	90 (R7年度)	85 (R5年度)
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 兵庫県
本事業の担当部局名 県民生活部男女青少年課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		3_2_2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成						
個別事業名		少子対策ネットワーク構築事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成21年度
総事業費(A)(円)		450,000		交付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	450,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		450,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	450,000	0	0	0	0	450,000	
	対象経費支出予定額	450,000	0	0	0	0	450,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出会い・結婚のサポートから、妊娠、出産、子育て、教育、さらには就職・起業まで、切れ目のない支援を展開することで、誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫を実現する。 <本個別事業の位置付け> 本事業は豊かな人間性を育み、若者が就業や家族形成に明るい展望を持てる社会づくりに向け、県内各地で活動する子育て支援団体等の活動紹介、親子で体験ができるブースなどを出展するフォーラムを開催し、子育て支援団体等の連携強化や、現役子育て世帯及び将来子どもを産み・育てようとする若者の結婚・子育てを応援する機運の醸成を図るものである。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	地域フォーラムの開催(ひょうご子育てコミュニティに委託)	地域で活動している子育て支援団体や子育て世帯を支援する企業の取組の紹介や、親子で参加できるステージや展示ブースの出展、若者世代と子育て世代の交流の場の提供等、世代や地域を超えた多くの人が、子育てを支援する企業や団体との関わりを通して、「地域で子育て」を考える機会とするフォーラムの開催を行う。 (1)参加対象:現役子育て世代、若者世代、子育て支援団体・子育て支援に取り組む企業 (2)実施回数:3回 (例)R6年度:神戸市・三田市・福崎町にて開催 ※想定参加者数300名程度×3回≒1000人程度 (3)実施内容(例) ・子育て支援団体と子育て支援に取り組む企業等との交流会 ・子育て世帯が親子で楽しめるステージやブースの出展 ・子育てに役立つ情報発信や体験コーナーの実施 ・結婚・子育てを未経験の若者世代のキャリア形成支援や、子育て世代との交流の場の設置等 (4)事後調査の実施 参加者に対して、当日にアンケートを実施					
	2							
	3							
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・令和6年度は、若い世代の参加者に向けたイベントの広報を積極的に実施できていない点が課題であったため、令和7年度は、インスタ等のSNSを活用した地域フォーラム開催の広報を効果的に実施する。 ・令和7年度は、より多くの若い世代に関心を持っていただける地域フォーラムの開催を目指し、学生や新社会人が結婚・子育てについて考える契機となるような要素を盛り込んだ、地域フォーラムの実施を検討する。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)		組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R5年)	
	婚姻件数		件	19,629 (R5年)	
	婚姻率			3.7 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	地域フォーラム参加人数	人	1,200(令和7年度)	969(令和5年度)
	②	地域フォーラム参加団体数	団体	50(令和7年度)	47(令和5年度)
	③	県内の子育て団体の代表等が集まる連絡会の開催	回	10(令和7年度)	8(令和5年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80(令和7年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70(令和7年度)	—
	④	子育てに対する理解が深まった(対象:現役子育て世帯)	%	90(令和7年度)	82.2(令和5年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 兵庫県
本事業の担当部局名 県民生活部男女青少年課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1_2_3 結婚支援事業者との官民連携型結婚支援						
個別事業名		結婚支援ボランティア等へ向けた研修会の開催				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		660,000		交付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	660,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		660,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	660,000	0	0	0	0	660,000	
	対象経費支出予定額	660,000	0	0	0	0	660,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出会い・結婚のサポートから、妊娠、出産、子育て、教育、さらには就職・起業まで、切れ目のない支援を展開することで、誰もが安心して子育てでき、すべての子どもが健やかに育つ兵庫を実現する。 <本個別事業の位置付け> 本県の少子対策・子育て支援に関する基本計画である「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2025～2029)(仮称)」の6つの推進方策の「Ⅱ 結婚・妊娠・出産の希望が実現出来る切れ目ない支援」に、出会い支援事業は位置づけられている。本事業は、県内で活動する結婚支援ボランティア等に向けた研修会を開催し、若い世代への婚活サポートスキルの向上に取り組むことで、県全域の出会い支援事業のレベルアップ及び出会いや結婚を応援する社会的気運の醸成を目指す。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	結婚支援ボランティア等へ向けた研修会の開催	結婚支援に関する知見やノウハウを持つ民間事業者と連携して、若い世代への効果的かつ時代に沿った婚活支援のノウハウや、個人情報の保護・ハラスメントに関する知識の浸透等を目的とした研修会を県内各地で開催し、結婚支援ボランティアの資質向上・質の高いイベントの開催による、効果的な結婚支援の実現を図る。 【研修対象者】 県内で活動する結婚支援ボランティア、県内市町婚活支援担当者、結婚支援に取り組む地域団体、ひょうご出会いサポートセンター会員向けにイベントを開催する団体 等 ※回数:3回を想定					
	2							
	3							
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻数(出会い支援事業における年間の成婚組数)		組	200 (R7年度)	73 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29 (R5年)	
	婚姻件数		件	19,629 (R5年)	
	婚姻率			3.7 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	市町結婚支援ボランティア等研修会参加者数	人	90(令和7年度)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80(令和7年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	結婚支援ボランティア等へ向けた研修会に参加し、今後の活動に活かしたいと感じた人の割合	%	80(令和7年度)	—
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				